

6 - 12 上宝における最近の地殻変動 (1985 年 1 月～ 8 月)

Ground Deformations Observed at Kamitakara (January - August, 1985)

京都大学防災研究所

上宝地殻変動観測所

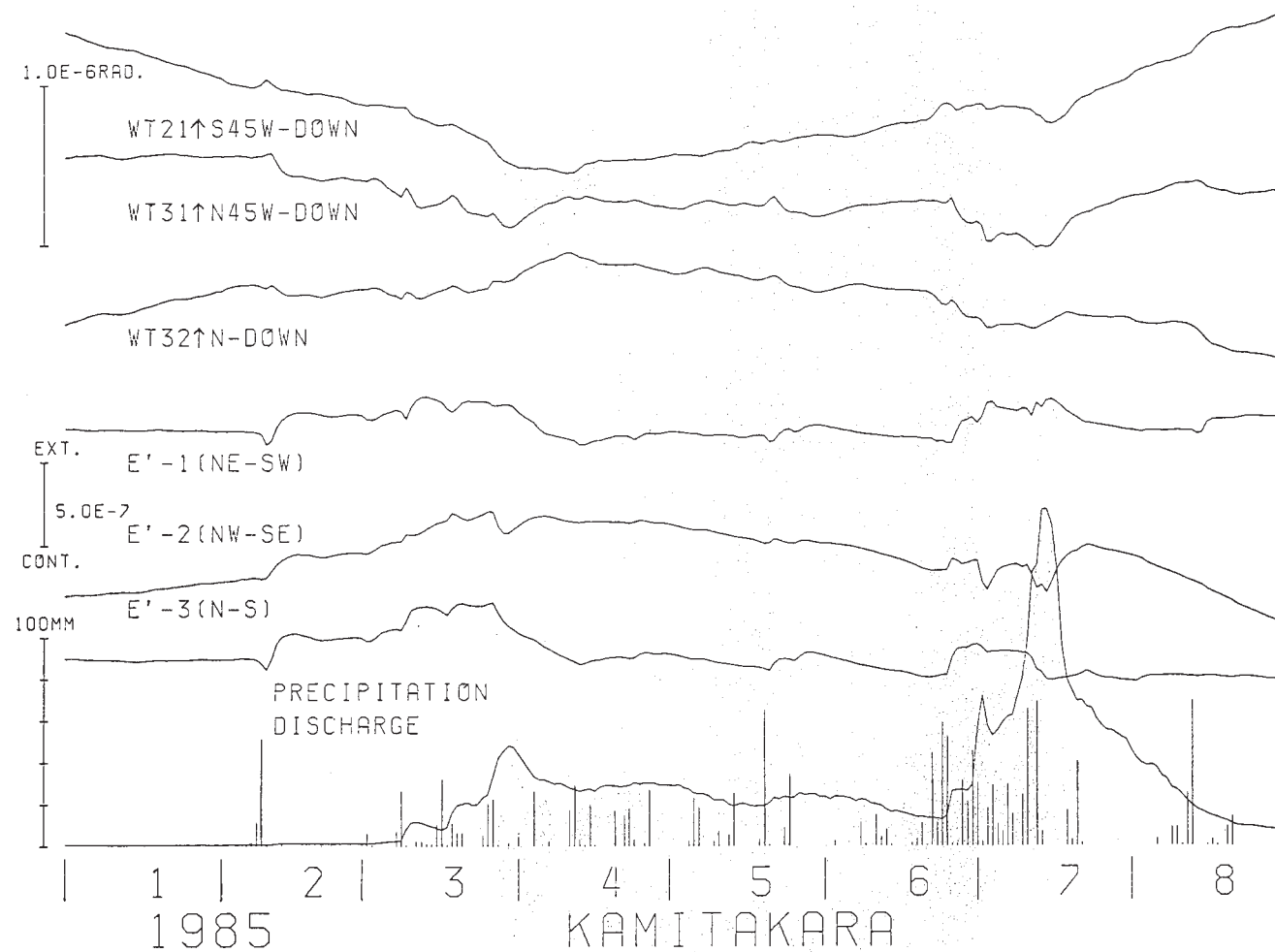
Kamitakara Crustal Movement Observatory

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第 1 図に、1985 年 1 月から 8 月までの、上宝における歪変化、傾斜変化、坑内湧水量および降水量を示す。昨年 9 月 14 日に発生した長野県西部地震 ($M=6.8$, $\Delta=55\text{km}$) の余効変動は 9 月末までには収まっている。それ以降 1985 年 8 月まで、湧水ならびに降水による擾乱を別にすれば、歪 3 方向の変化、傾斜 3 方向の変化には特に顕著な変動は見られず、永年変動量も年間 3×10^{-7} 以下である。

参 考 文 献

- 1) 京大防災研究所・上宝地殻変動観測所：上宝における最近の地殻変動 (1983 年 1 月～ 1984 年 12 月), 連絡会報, **34** (1985), 365 - 368.



第1図 上宝における歪変化，傾斜変化，坑内湧水量および降水量（1985年1月～8月）

Fig. 1 Daily values of crustal strains observed with three components of strainmeters (E'-1, E'-2 and E'-3), crustal tilts observed with three components of water-tube tiltmeters (WT21, WT31 and WT32), discharge of underground water, and precipitation (January - August, 1985).